

I. 令和5年度末事業概況

本年わが国の経済は、予想以上に長引く円安や物価高騰による景気の下押しがあったものの、行動規制の緩和による国内需要の回復、円安に後押しされたインバウンド需要の急拡大が続いたが、能登半島地震、消費者の節約志向の高まり、自動車メーカーの不正問題などがマイナス要因となり、改善傾向がやや減速することとなった。

このような中、本会は、昨年度よりも縮小した体制のもと、「交流で成功地域を創り出した実績豊富な団体」となるための中長期経営計画を見直す準備年度として、継続（公益）事業の確実な実施と収益事業の収支確立に向けた事業を展開した。

II. 事業項目別実施概況

第1. 事業実施事項および内容

〔継続事業＝公益目的事業〕

公益目的支出計画を踏まえた継続事業として、都市農村交流事業（体験交流事業、地域交流支援事業）・教育研修事業および広報・調査研究事業は、公益を目的として農山漁村地域の活性化に寄与するため、次の事業を実施した。

1. 都市農村交流事業（継続1）

〔1-1 体験交流事業〕

体験交流事業では、農家支援（作業）・交流により本物の食と農を理解する「援農ボランティア」、伝統的な食文化・安全安心な農産物について学ぶ「食育探訪」、自然・農林漁業体験、民俗芸能などの地域の伝統文化に触れて興味関心を高める「田舎暮らし体験」、農業・農村のファン創りを目的に手軽に農村での交流ができる「ふるさと体験交流」など、様々な交流企画を通じ、交流人口の拡大に努めている。

本年は、「ふるさと倶楽部会員」の訴求対象の拡大と活性化、SNSも含めた広報手段の多角化を進め、事業体制規模に応じた事業を展開した。

(1) 援農ボランティア活動の拡充『快汗！猫の手援農隊』

本企画は、過疎化・高齢化により担い手不足が深刻な日本の農山漁村を応援するため、「農作業の支援」をしていただくボランティアを募り、作物や土に触れ、農家との交流を通じて、食と農の理解を深めることを目的としている。

本年は、若年層に活動の輪を広めるための参加しやすい日帰り企画およびリピーター向けの宿泊企画等により全国で受入れ地域数18箇所（21企画）、ボランティア総数199名（前年23箇所321名）の実績となった。

■ 全国18箇所 企画数21 [参加者総数199名]

No.	企画名称	実施日程	受入地域	人数
1	チューリップ花摘み隊	4/12（水）～ 4/14（金）	富山県高岡市	6
2	原木しいたけ駒打ち隊	4/15（土）～ 4/17（月）	福島県矢祭町	16
3	「中田の棚田」で田植え!!	5/28（日）	和歌山県紀美野町	2
4	小布施ぶどう援農隊	6/9（金）～ 6/11（日）	長野県小布施町	10
5	カーネーション片付け隊	6/10（土）	神奈川県秦野市	26
6	秋間梅林 梅もぎ援農隊	6/14（水）	群馬県安中市	12
7	フェイジョア援農隊	7/1（土）～ 7/2（日）	福島県いわき市	6
8	みかん摘果隊	7/30（日）	神奈川県大井町	9
9	雪中キャベツ植付け隊	8/10（木）～ 8/12（土）	長野県小谷村	9
10	えな栗援農隊	9/15（金）～ 9/17（日）	岐阜県恵那市	8
11	「中田の棚田」で稲刈り	10/8（日）	和歌山県紀美野町	3
12	保平かぶ援農隊	10/28（土）～ 10/30（月）	長野県松本市	7
13	ころ柿援農隊	11/16（木）～ 11/18（土）	宮城県丸森町	7

No.	企画名称	実施日程	受入地域	人数
14	ゆず収穫隊	11/23(木)～ 11/25(土)	福島県矢祭町	8
15	鴨川市温州みかん援農隊	12/5(火)	千葉県鴨川市	8
16	大井町温州みかん援農隊	12/17(日)	神奈川県大井町	18
17	壱岐の島で牡蠣の殻洗い隊	12/19(火)～ 12/21(木)	長崎県壱岐市	6
18	はやかわ大豆選別隊	1/20(土)～ 1/21(日)	山梨県早川町	10
19	ブランド白菜 邑美人援農隊	1/27(土)	群馬県館林市	11
20	雪中キャベツ収穫隊	2/3(土)～ 2/5(月)	長野県小谷村	9
21	原木しいたけ駒打ち隊	3/9(土)～ 3/11(月)	福島県矢祭町	8

(2) 食育交流企画の実施『田舎でいいね！食育探訪』

本企画は、農山漁村に古くから伝わる伝統的な食文化や農産物を体感し、味わい、子供から大人までの幅広い世代に対する「食と農」の理解促進を目的としている。

本年は、全国15箇所で行った15企画、参加者総数358名（前年16箇所420名）の実績となった。

■ 全国15箇所 企画数15 [参加者総数358名]

No.	企画名称	実施日程	受入地域	人数
1	「春を満喫“里山の学校”で過ごす一日」～伝統野菜“のらぼう菜”収穫とアレンジ料理&“こんにゃく作り”～	4/2(日)	東京都あきる野市	11
2	なにわの伝統野菜「碓井豌豆」と「河内一寸そら豆」収穫体験	5/6(土)	大阪府羽曳野市	22
3	大阪菜発見！なにわの伝統野菜ゆかりの地をぶらり「玉造黒門越瓜」	6/24(土)	大阪府大阪市	8

No.	企画名称	実施日程	受入地域	人数
4	夏の「なにわの伝統野菜」収穫と南河内郡の歴史を訪ねて	7/8（土）	大阪府河南町	16
5	但馬伝統野菜八代オクラ&但馬在来種進美なす&たじまピーマン収穫体験	9/18（月）	兵庫県豊岡市	10
6	辻調理師専門学校校外学習	10/23（月）・ 10/24（火）	和歌山県紀の川市	147
7	「関西の源流を訪ねて」幻の銘茶“政所茶”を知る	10/28（土）	滋賀県東近江市	9
8	ホスピタリティーツーリズム専門学校フィールドワーク	10/29（日）～ 10/30（月）	和歌山県紀の川市	6
9	大阪みかん収穫&親子で楽しむミニ食育講座	11/26（日）	大阪府和泉市	11
10	なにわの伝統野菜&秋冬野菜収穫体験	12/2（土）	大阪府河南町	29
11	江戸東京野菜の収穫体験&伝統野菜を学ぶ	12/10（日）	東京都練馬区	35
12	大阪菜発見！なにわの伝統野菜ゆかりの地をぶらり 難波葱	1/27（土）	大阪府大阪市	13
13	春をつげる伝統野菜「八尾若ごぼう」収穫体験	2/17（土）	大阪府八尾市	14
14	JA たじまブランド！岩津ねぎ収穫体験	2/24（土）	兵庫県朝来市	23
15	春のなにわ伝統野菜「高山真菜」摘み取り&こども発酵食育教室	3/24（日）	大阪府豊能町	4

（3）移住・就農喚起に向けた交流企画の実施『田舎暮らし体験』

本企画は、農業漁業にまつわる様々な伝統文化や地域行事のある美しい日本の農山漁村を訪れ、そこに暮らす人々との交流を通じて、田舎暮らしへの興味・愛着を持ち、移住・就農のきっかけづくりを提案することを目的としている。

本年は、2箇所ですべて2企画、参加者総数14名（前年6箇所71名）の

実績となった。

■ 全国 2 箇所 企画数 2 [参加者総数 14 名]

No.	企画名称	実施日程	受入地域	人数
1	信州 白馬山麓で田舎暮らし 山菜の宝庫！小谷村で山菜狩り & 白馬村の植栽体験	6/4(日)～ 6/6(火)	長野県 小谷村・白馬村	6
2	矢祭町の田舎暮らし	10/3(火)～ 10/5(木)	福島県矢祭町	8

(4) 農業・農村ファン創りに向けた企画の実施『ふるさと体験交流』

都市生活者の農業・農村に対する理解や関心を高めるため、手軽に農村での交流ができる「体験型交流企画」を実施し、大人から子どもまで対象を広げ、農業・農村のファン創りを目指している。

さらに次のステップとして援農ボランティアや食育交流企画・田舎暮らし体験企画への参加を促すために「ふるさと体験交流」を実施した結果、本年は、全国 42 箇所、47 企画、参加者総数 1,064 名（前年 36 箇所 1,171 名）の実績となった。

■ 全国 42 箇所 企画数 47 [参加者総数 1,064 名]

No.	企画名称	実施日程	受入地域	人数
1	和歌山特産！「まりひめ」いちご狩り & 山東たけのこ収穫体験	4/7(金)	和歌山県紀の川市	26
2	いちご王国栃木県で完熟いちご狩り とアスパラガス収穫体験	4/16(日)	栃木県宇都宮市	18
3	春の味覚！あすかるビーとたけのこ収穫	4/16(日) 4/20(木) 4/21(金)	奈良県明日香村	47
4	大多喜たけのこ掘りと君津いちご狩り で春を満喫！	4/22(土)	千葉県大多喜町	22
5	新緑の中で山菜摘み体験	4/22(土)	滋賀県余呉町	16
6	「まりひめ」いちご狩り & 芍薬摘み 取り体験	4/29(土)	和歌山県紀の川市	30
7	東京八王子の畑で春野菜収穫と わくわく酪農体験 & ピザづくり	5/13(土)	東京都八王子市	15
8	淡路特産！カーネーションと玉ねぎ 収穫体験	5/13(土) 5/14(日) 5/20(土)	兵庫県淡路島	75
9	月ヶ瀬で新茶のお茶摘み体験と こんにゃく作り体験	5/21(日)	奈良県奈良市	15

No.	企画名称	実施日程	受入地域	人数
10	和紙と有機農業のふるさと小川町でこだわり野菜と和紙の原料・楮(こうぞ)を食べる	5/27(土)	埼玉県小川町	10
11	砂丘らっきょう収穫&お母さん直伝らっきょう漬け体験	5/27(土)	鳥取県鳥取市	11
12	露地びわ狩りと漁師料理 in 南房総	6/3(土)	千葉県南房総市	25
13	淡路島で「完熟びわ狩り」と「じゃがいも」収穫体験	6/10(土)	兵庫県淡路島	39
14	南高梅もぎ&梅ジュース作り体験	6/17(土)	和歌山県田辺市	14
15	初夏の味覚狩り！さくらんぼとブルーベリー・奥平温泉で湯ったり	7/1(土)	群馬県みなかみ町	31
16	紀の川の桃&夏野菜収穫体験	7/1(土)	和歌山県紀の川市	43
17	J A兵庫みらい「アスパラガス」と「トウモロコシ」収穫体験	7/14(金)	兵庫県加西市	33
18	どラボ 農業女子の畑に集合！	8/25(金)	千葉県山武市	9
19	鳥取県ブランド！二十世紀梨とブルーベリー収穫体験	8/27(日)	鳥取県鳥取市	42
20	「北山杉の間伐材でつくる精油」と「京北の恵みいっぱい！旬のお野菜収穫」	9/30(土)	京都府京都市	14
21	落花生“おおまさり”とさつまいも掘り～水鳥と文学の町・あびこ手賀沼を知る～	10/7(土)	千葉県我孫子市	25
22	秋の味覚！丹波くりひろい体験	10/7(土)	京都府京丹波町	37
23	あけぼの大豆(枝豆)・きゅうり収穫と身延のゆばを味わう	10/14(土)	山梨県身延町	28
24	和歌山ブランド！紀の川柿&みかん収穫体験	10/14(土) 10/15(日)	和歌山県紀の川市	48
25	秋のみのり！黒大豆枝豆収穫体験	10/21(土)	兵庫県西脇市	22
26	巨大梨“にっこり”&しいたけ“宮どんこ”収穫 in うつのみや	10/22(日)	栃木県宇都宮市	25
27	「柿の王様」富有柿とりんご食べ比べで食欲の秋を楽しむ in 石岡	11/5(日)	茨城県石岡市	25

No.	企画名称	実施日程	受入地域	人数
28	刀根早生柿発祥の地で柿の収穫と奈良県の郷土料理を味わう	11/5（日）	奈良県天理市	21
29	紀の川市“藤井の里”でキウイ&レモン収穫体験	11/11（土）	和歌山県紀の川市	14
30	花御所柿収穫体験	11/23（木）	鳥取県八頭町	24
31	金剛葛城山麓の食材が醸し出すガストロノミーツーリズム	11/25（土）	奈良県御所市	19
32	地元で伝わる本物の田舎料理！滑川町で味噌づくり&季節の野菜収穫	11/26（日）	埼玉県滑川町	20
33	群馬の冬野菜を収穫しに行こう！下仁田ねぎ・国分にんじん・国府白菜	12/7（木）	群馬県下仁田町	17
34	JA鳥取中央特産！旬の「ねばりっこ収穫体験」	12/9（土）	鳥取県大栄町	21
35	みかん狩り&冬の美味しい野菜収穫・小田原城址公園散策	12/16（土）	神奈川県小田原市	17
36	岸和田ブランドにんじん「彩誉」収穫体験	1/25（木）	大阪府岸和田市	25
37	“野菜ソムリエ”わたなべさんちで旬の野菜収穫&九十九里を知る！	1/28（日）	千葉県山武市	20
38	泉州キャベツ&極早生玉ねぎ収穫体験	1/28（日）	大阪府泉佐野市・阪南市	17
39	春の南房総！いちご狩りと菜花収穫をしよう！	2/3（土）	千葉県南房総市	18
40	いちご&とまと収穫体験	2/10（土）	兵庫県西脇市	40
41	甘夏みかん狩りと函南めぐり野菜収穫	3/2（土）	静岡県函南町	25
42	春の滑川町！よもぎの草餅づくりと伝統野菜“比企のらぼう菜”収穫	3/30（土）	埼玉県滑川町	21

（５）ふるさと倶楽部会員およびファンの拡大

都市農村交流事業の理解促進に向け、SNSによる旅マエ・旅アト情報の配信頻度をあげ、LINEは、旅マエの宣伝媒体として活用し、Facebook及びInstagramは、実施後の旅アトの情報を配信した。

これらの結果、ふるさと倶楽部会員は5,362名（前年度末比110名増）、Facebook登録者数938名（前年度末比6名増）、LINE登録者数576名（前年度末比58名増）、Instagramフォロワー数401（前年度末比104名増）また、一般社団法人家の光協会と連携したX（旧Twitter）は、フォロワー数4,165名となりSNSの利用者が増加した。

〔1-2 地域交流支援事業〕

農山漁村地域の所得向上および地域の活性化を実現するため、株式会社農協観光ならびに一般社団法人日本ファームステイ協会（JPCSA）等と連携して、地域協議会や自治体等に寄り添いながら支援地域の体制整備・強化を支援した。

（1）地域づくり推進の展開

中長期経営計画の目標である成功地域の創出を早期に実現させるため、全国各地における課題やニーズに現場で向き合い、課題解決および持続可能な地域づくりを目指して各種支援を実践した。支援にあたっては、地域性に応じ特定の地域協議会や施設等からの業務委託等を通じた「集中型支援」、または複数の農泊地域や自治体等への「分散型支援」を実施した。本年は全て分散型支援であった。

※集中型支援：地域の課題に対し、網羅的に支援を行う。

※分散型支援：地域の課題に対し、部分的な支援を行う。

① 埼玉県小川町

内閣府地方創生推進室が実施する「関係人口創出・拡大のための対流促進事業」の採択を受け、埼玉県小川町と連携し、落ち葉の堆肥作りをテーマに5回の体験プログラムを実施し、計80名が参加した。

② 東京都

公益財団法人東京都農林水産振興財団が実施する「東京都担い手確保育成及び女性就農支援事業」において、「東京都就農PRツアー（東京）での就農を本気で考えるツアー」を受託し、就農を希望する都市住民等を対象に、多摩地域にある東京農業アカデミー八王子農場や新規就農者、農業法人を訪問するツアーを計4回実施した。

（2）観光立国推進施策と連動した全国推進への取り組み

「歴史的資源を活用した観光まちづくり」は、2016年のタスクフォース設立以降、官民連携推進チームを中心に取り組んだ結果、政策目標であった「2020年までに全国200地域での取組」を達成した。観光庁は更なる高付加価値化および経済・社会波及効果拡大に向けて、「歴史的資源を中核に地域資源の潜在価値を一体で活かす観光・地域経営の実現」を目指す姿と定め、地域の多様な歴史的資源を面的に活用し、地域への継続的な経済効果、地域内での循環を作り出すことで、地域の文化や環境・景観の保全、地域の継承（持続的な地域づくり）を目指している。この実現に向けて、本年度観光庁は、『歴史的資源を活用した観光まちづくりに関わる総合的な推進のための調査事業』を公募し、本会がこの事業を受託した。

地域の核となる歴史的資源の活用に向けた専門家派遣に先立ち、歴史的資源の活用の具体的イメージと取り組みポイントの周知を目的としたオンラインセミナー開催、全国から選出した3地域を対象に専門家を派遣し、その他歴史的資源を活用した観光まちづくり事業における金融面での課題・海外状況・取組展開地域についての現地調査を行った。また令和7年度に選定予定の面的取組地域に関わる調査も併せて行った。

【歴史的資源を活用した観光まちづくりオンラインセミナー実績】

開催日	内容	参加者
9月21日	1. 観光庁による政策説明 2. 専門家によるトークセッション 3. 専門家派遣事業内容説明	110名

【現地調査実績】

事業名	都道府県	市町村	調査先
専門家派遣事業	青森県	弘前市	弘前市役所他
	愛知県	豊川市	豊川商工会議所他
	岡山県	津山市	津山市観光協会他
金融面実態調査	長野県	塩尻市	(株) ソルトターミナル他
	広島県	尾道市	(株) しおまち企画他
	福井県	坂井市	(株) Actibase ふくい

事業名	都道府県	市町村	調査先
面的展開地域調査	千葉県	香取市	バリューマネジメント（株）
	福井県	小浜市	（株）まちづくり小浜
	滋賀県	大津市	（株）自遊人
	兵庫県	丹波篠山市	バリューマネジメント（株）
	愛媛県	大洲市	（一社）キタ・マネジメント

（３）農泊地域の受入高度化と効果的な推進に向けた取り組み

農林水産省が推進する「農泊」の取り組みを加速すべく、東北農政局『農山漁村振興交付金「農泊促進プロモーション事業」』に応募し、採択を受けた。農泊地域の実態調査として、36地域にヒアリング調査をしたほか、他分野との連携をテーマに米沢市で情報交換会の開催、取り組み事例をまとめた事例集を作成するなど、農泊地域の再始動に向けた支援を実施した。

２．教育研修事業（継続２）

農山漁村をはじめとする地域における観光の振興と促進を行い、国民が豊かな生活を送ることができる地域社会の創造に寄与することを目的とし、旅行業に係る各種研修会を地方中心に開催した。

（１）観光振興のための資格取得研修の実施

① 旅程管理研修

企画旅行の確実な実施に義務づけられた旅程管理主任者の資格を取得するために各地域登録旅行業者従業員等を対象に、旅行業法に基づく登録研修機関として、「旅程管理研修」（法定研修）を全国主要都市および地方都市において開催した。

「旅程管理研修」（法定研修）の開催結果

研修名	開催会場数	開催都市	受講者数
総合旅程管理研修	18 (前年 18)	仙台・宇都宮・東京（5回）・新潟・富山・名古屋（2回）・大阪（2回）・徳島・福岡（2回）・那覇（2回）	122 (前年 60)
国内旅程管理研修	30 (前年 35)	札幌、仙台（2回）・宇都宮・東京（4回）・長野・新潟（2回）・静岡・	221 (前年 262)

		名古屋（2回）・富山・石川・福井・ 大阪（2回）・岡山・広島・松江・ 高松・徳島・高知・福岡（2回）・ 鹿児島・那覇（2回）	
--	--	---	--

② 旅行業務取扱管理者国家試験対策講座

旅行業者従業員や旅行業界をめざす者を対象に、国家資格である旅行業務取扱管理者の資格取得促進を目的としている「総合旅行業務取扱管理者国家試験対策講座」および「国内旅行業務取扱管理者国家試験対策講座」を集合研修会とオンライン研修会を併用して開催した。

「総合旅行業務取扱管理者国家試験対策講座」の開催結果

講座名	開催会場数	開催都市	受講者数
総合旅行業務 取扱管理者国家 試験対策講座	3 (前年 3)	オンライン開催（3回）	20 (前年 23)

「国内旅行業務取扱管理者国家試験対策講座」の開催結果

講座名	開催会場数	開催都市	受講者数
国内旅行業務 取扱管理者国家 試験対策講座	10 (前年 5)	仙台（2回）・東京（4 回）・大阪（2回）・オン ライン開催（2回）	72 (前年 38)

3. 広報・調査研究事業（継続3）

広報事業は、SNSを含めた多様なメディアを効果的に活用した広報・プロモーション活動に取り組んだ。

調査研究事業は、地域交流支援事業と関連付けた調査・研究ならびに本会事業の試行と実証実験を実施した。また、有用な地域資源のひとつである民俗芸能の活用実践の場づくりや、本会各事業との産学連携も視野に入れたイベントを継続して開催を決定した。

（1）農山漁村における民俗文化資源の保存・活用・普及支援・調査の実施

農山漁村地域の民俗文化資源の保存・活用支援に向け、地域の人々

の暮らしと郷土芸能のつながりを考えることを目的として、2年前コロナ禍で公演中止となった岡山県奈義町の「横仙歌舞伎」を改めて招聘し、『第34回民俗芸能と農村生活を考える会』を令和6年2月3日（土）に大阪府中央区の国立文楽劇場で開催し、271名が参加した。

（2）地域づくりに役立つ広報・プロモーション方策の試行・確立

地域で活躍している学生等の取り組みを紹介することで地域活性化の一助となる『第4回学生地域づくり・交流大賞』を令和6年2月9日（金）、東京都千代田区のアグベンチャーラボにおいて、最終審査会を開催し、参加団体に各賞を授与した。

日本農業新聞をはじめ、団体が活動している地域の地方紙が最終審査会の模様を掲載することで、地域に対し本会事業の周知となる、新たな広報・プロモーション方策を立てることができた。

【表彰結果】

- 大賞：松山大学 愛南マダイ応援団
- 優秀賞：宮城学院女子大学 石原ゼミナール
- 優秀賞：静岡文化芸術大学 引佐耕作隊
- アグベンチャーラボ賞：東洋大学 国際地域学部

（3）本会事業の周知を促進するためのWEB・SNS等活用の実施

本会ホームページに本会研修を受講し資格取得された方へのインタビュー動画の掲載やSNSによる定期的な都市農村交流に係る記事の掲載など、各部署の広報委員が中心となってWEBやSNSを活用して本会事業の周知を図った。

また、本会の事業理解と認知度向上を目的として、広報誌「ふれあい」を四季ごとに（4月、8月、10月、2月）4回発刊した。

（4）農山漁村地域の活性化に向けた調査研究の実施

本会地域交流支援事業と関連付けた農山漁村地域の活性化に向けた方策の調査・研究を熊本県山都町で行った。

〔収益事業〕

収益事業は、観光人材育成事業および日本農業検定事業であり、法人の

持続的な運営の必要財源を安定確保するための事業として、事業収支の確保を目標として取り組んだ。

4. 観光人材育成事業（収益1）

観光立国ならびに地方創生の動きを踏まえ、観光・地域づくりに関する研修・講座を提供し、観光人材の育成に取り組んだ。

（1）観光客受入を促進する研修の実施

① 研修・講演

農協観光協定旅館ホテル連盟を介して施設従業員を対象に、観光客の受入に必要な基礎知識の習得やおもてなしサービス接遇向上等の人材育成研修会を実施した。

4月26日 滋賀県大津市 顧客接遇研修

② 旅行サービス手配業務取扱管理者研修（法定研修）

「旅行サービス手配業」の資格者養成の研修機関として観光庁に登録されている「旅行サービス手配業務取扱管理者研修」をオンラインで実施した。

講座名	開催会場数	開催都市	受講者数
旅行サービス手配業務 取扱管理者研修	1 (前年1)	オンライン開催 (東京)	3 (前年6)

③ 住宅宿泊管理業に係る登録実務講習制度

住宅宿泊事業法に基づく登録講習機関として、制度設計・講習カリキュラムの策定・テキスト作成等を行い、国土交通省への登録を申請した。

（2）受入地域の体制整備に係る研修の開発と実施

① 令和5年度「キラリ！農スタイル」魅力発信業務の実施

宮城県農政部農業振興課による「キラリ！農スタイル魅力発信業務」を昨年に引き続き受託し、就農をテーマに宮城県在住の女子大学生を対象に「農と食の体験ツアー」を計7回実施し、延べ85名が参加した。また、全ツアー終了後、参加者を招聘し、「農業分野を職業として

の選択肢とするための意見」についてヒアリング調査を実施した。

② 静岡県農林環境専門職大学出講

「グリーン・ツーリズム論」を学ぶ同大学の学生を対象に、「静岡県外のグリーン・ツーリズムの実践」を主題に講演した。

③ 令和5年度都市住民ボランティア援農体制モデル事業

株式会社農協観光が受託した和歌山県が実施する「都市住民ボランティア援農体制モデル事業」において、援農の受入れを行う農業者等を対象としたリスクマネジメント研修会を紀の川市、田辺市、有田川町の三会場で実施した。

④ (一社) 日本ファームステイ協会との連携

(一社) 日本ファームステイ協会事務局として、社員総会、理事会・評議会、賛助会員報告会の開催、同協会が実施する「ファームステイ品質認証・向上支援制度」の運用(3地域)、更には、同協会が受託している一般社団法人アルベルゴ・ディフーズインターナショナル極東支部におけるアルベルゴディフーズ認証制度の業務支援(4地域)を実施した。

【ファームステイ品質認証・向上支援制度】

都道府県	地域
山形県	飯豊町
	朝日町
	真室川町

【アルベルゴディフーズ認証制度】

都道府県	地域
岩手県	蔵王町
	村田町
宮城県	蔵王町
長崎県	平戸市

⑤ 熊本県立農業大学校への出講

「くまもと農業アカデミー(本校) 農業と観光の連携講座」に出講し、「農泊に関する法律や施設整備の実務」に関する研修を実施した。

⑥ 令和5年度愛媛県農泊人材育成研修事業

株式会社農協観光四国支店が受注した「愛媛県 農泊人材育成研修事業」において、農林漁業体験民宿業の取得手続きに関する研修を実施した。

⑦ 新上五島町観光物産協会への出講

昨年度に引き続き、教育旅行の受け入れを行う漁家民宿などを対象とした「リスクマネジメント研修」に出講した。

⑧ 青森県農泊推進ネットワーク会議への出講

青森県が主催するネットワーク会議に出講し、農泊地域等を対象に「農泊等を活用した全国の事例」というテーマで、講演を行った。

⑨ 静岡農泊推進ネットワーク設立会議への出講

静岡県が事務局を務めるネットワーク設立会議に出講し、農泊専門家として「農泊を中心とした県域ネットワークの意義」、及び「農泊体験活動におけるリスクマネジメント」というテーマで、講演した。

⑩ 令和5年度農泊運営者向け体験コンテンツづくり研修会への出講

株式会社農協観光地域共創事業課が受注した宮城県東部地方振興事務所が主催する本研修において、「農泊の体験コンテンツづくり」「リスクマネジメント」をテーマに研修を実施した。

(3) 海外コンサル業務への参画

本邦内の農山漁村の活性化の一助とすべく、海外の観光・農業関連 JICA 技術協力プロジェクトに継続参画した。

本年度は、セネガル共和国『セネガル川流域コメバリューチェーン強化プロジェクト』の事業において、海外における各種情報収集やプロジェクトマネジメントを含む支援ノウハウの習得と国内事業への活用に努め、受託会社の補強要員として1名が従事し、特に農業普及におけるタブレット活用による業務効率化に取り組んだ。

担 当	I C T 利 活 用
期 間	令和5年8月～令和6年2月（国外：計90日間）
主な業務	①農業普及におけるタブレット活用推進策の検討 ②タブレット導入による農業統計調査の効率化試験 ③管轄組織のDX推進に向けたワークショップ開催

5. 農福連携事業（収益2）

株式会社農協観光や農福連携推進団体と連携し、これから本事業に取

り組もうとする事業体に対し、業務設計、収益確保など、持続して実施するための専門家派遣などの人的支援を中心に収益事業として確立することを目指している。

本年度は、(一社)日本農福連携協会を通じて、農林水産省農山漁村振興交付金『農福連携に取り組む事業所に関するデータベース化及び農福連携の「福」への取組拡大等の推進事業』に参画し、農福連携への理解促進を目的としたツアー造成と販路拡大を支援した。

6. 日本農業検定事業（収益3）

検定実施11年目を迎えた日本農業検定事業は、小学生から一般の方々を対象に農業の基礎的な知識の習得を図るとともに、JAグループにおいては、職員研修や基礎知識の習得を目的に拡充に努めた。

（1）農業への理解促進と関心を高めるための農業検定の拡充

日本農業検定受検者拡大に向けて、訪問推進に加え、JAグループにおいては、JAならびに都道府県中央会やJA関連企業、学校関係では、校長会や教育関係の研究会・学会を含む小学校・中学校・高校・大学、その他では、大手ホームセンター・農業関連団体・市民生協・農福連携関連団体等へ郵送等による資料の配布を行った結果、1,791名（前年比180名減）が受検した。

また、農の教養書としてのテキストの認知度向上を図るため、直販に加え全国の書店におけるテキスト販売を継続した結果、2,702冊（前年比518冊減）を販売するとともに、内容をより充実するため、2024年4月発刊に向けてテキストの改訂に取り組んだ。

（2）農検栽培キット（豆苗）の販売促進

中学校の技術家庭科の補助教材である農検栽培キットは、原材料費や輸送コストの高騰による値上げの影響もあり、卸販売事業者からの発注数は19,200個（前年比5,900個減）となったが、栽培キットを使用した栽培教室の依頼は増加傾向にあり、渋谷区こども科学センターでの開催に加えて、埼玉県富士見市健康増進センター・世田谷区立教育総合センター・東京オペラシティで9回実施した。

第2. 経営基盤強化策

本会の経営基盤の充実・強化のために、中長期経営計画に沿って、職員の人財育成・教育研修に関する施策を行うとともに、財務の安定性確保を図るための資産運用を実施した。

(1) 人財育成のための取り組み

全職員に対して、厚生労働省が実施する「みんなでNOハラスメントオンライン研修」の受講、管理職を対象とした「評価者研修会」の開催など、「働きやすい職場づくり」の一環として、制度・法令の理解促進に努めた。

また、職員が部署横断的メンバーで構成する「プロジェクト」については、農林水産省が進める「農業女子プロジェクト」と連携した「農業女子 つ・な・ぐ プロジェクト」で、職業としての農業への理解促進と女性農業者の取り組み発信することを目的に、小中学生および保護者を対象とした「職業体験EXPO2023」への出展と登壇いただいた女性農業者の圃場を訪問するツアーを実施し、農業ならびに女性農業者への理解促進を図るとともに、その活動を通じて職員の自主性・主体性の醸成をはかり、実践的な人財育成を取り進めた。

(2) 資産運用の充実

資産運用としての有価証券については、109,968千円の利金収入を計上するとともに、満期償還1件(150,000千円)と早期償還2件(250,000千円)の債券を再投資した。

また、流動性・安全性・収益性等のバランスに配慮したポートフォリオの構築をめざし、分散運用の一環として不動産投資信託(私募リート)2件(200,827千円)を取得した。

(3) 情報システム機能の充実

業務効率化ならびに法制度への対応として、承認申請業務のワークフローシステムへの移行と適格請求書発行システムの試験導入を行った。

また、あらたにビジネスチャットアプリを導入し、セキュリティに配慮しつつ、情報共有機能、スケジュール管理機能、コミュニケーションツールの拡充を行った。

以 上